

ルーヴル美術館200年展

ヨーロッパの国立美術館の中でも最も古い歴史を持つルーヴル美術館の開館200周年を記念して行うフランス国外唯一の美術展で、アーバンリゾートフェア神戸'93のオープニングイベントとして開催された。

展示作品は、ルーヴル美術館の6,000点を超えるヨーロッパ絵画のコレクションの中から選りすぐった西欧絵画の傑作87作家の95点。「ルーヴルのコレクション形成の経緯を出品作品を通して展覧する」という画期的な試みで、フランス絵画の黄金期400年の作品を中心に、イタリア、オランダ、スペイン、ドイツなど周辺諸国の有名作家の作品を加えて、歴史を色濃く映した収集史を名画で振り返るとともに、16世紀から19世紀に至る西洋美術の華麗な歩みを大別して5つのグループで紹介した。

ベラスケス、ダヴィッド、ドラクロアら巨匠たちの作品も多く含まれ、そのほとんどが日本初公開。これほど多くの絵画作品がひとつの展覧会のために貸し出されるのはルーヴル美術館始めて以来のことであり、200周年にふさわしい空前絶後の絵画展となった。



※この図録は現在当館では扱っておりません。

会期/平成5年3月20日(土)～5月9日(日)

会場/特別展示室1、南蛮美術館室、特別展示室2、ギャラリー

主催/神戸市立博物館、ルーヴル美術館、日本経済新聞社

後援/外務省、文化庁、フランス大使館、フランス教育文化省

特別協賛/アーバンリゾートフェア神戸 '93推進協議会

協賛/株式会社第一勧業銀行、日本アイ・ビー・エム株式会社

特別協力/安田火災海上保険株式会社

協力/日本航空

組織責任者/ピエール・ロザンベール(ルーヴル美術館絵画部門部長)

クローディ・ルソール(ルーヴル美術館絵画部門記録整理係)

ブリジット・ガリーニ(美術史家・ルーヴル美術館絵画部門特別職員)

日本側監修者/高階秀爾(国立西洋美術館館長)

開催期間/44日

入館者数/594,835人(1日最高入館者25,535人(5月3日)(13,519人/日))

出品件数/95点